

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	南信濃観光施設管理事業	会計	一般会計	事業No.	626	施策順No.	11-073
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-4-18-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	南信濃自治振興センター		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	18	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田市が所有する観光施設						A十分達成したBどちらかといえは達成したCどちらかといえはできてないDほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		管理を要する観光施設数	26	26	26	27	27	
	意図	魅力ある観光地を目指す						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	修繕・補修を必要とする施設数	8	8	8	9	9	9	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	緊急度の高い修繕に取り組んだ。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	観光施設の機能発揮し効果を高めるため、適切な維持管理を行なう。登山道の点検・維持管理、トイレの清掃業務管理、上下水道料の支払、合併浄化槽の管理業務委託、観光施設の運営業務管理委託及び必要な施設改修工事を行う		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 観光施設の維持管理 (1)登山道の維持管理(易老岳ルート・聖岳ルート・兎岳ルート) (2)観光施設の維持管理 2 観光施設運営管理委託(南信濃振興公社、アンバマイ館) 3 観光施設整備(かぐらの湯源泉ポンプ)	1 観光施設の維持管理 (1)登山ルート数 (2)施設数 2 委託料 3 工事請負費	1 (1) 3ルート (2) 26件 2 11,700千円 3 12,136千円
23年度実施計画	1 観光施設の維持管理 (1)登山道の維持管理(易老岳ルート・聖岳ルート・兎岳ルート) (2)観光施設の維持管理 2 観光施設運営管理委託(南信濃振興公社、アンバマイ館) 3 観光施設整備(いろりの宿島畑、かぐらの湯)	1 観光施設の維持管理 (1)登山ルート数 (2)施設数 2 委託料 3 工事請負費	1 (1) 3ルート (2) 26件 2 11,700千円 3 20,801千円

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	(県)ふるさと雇用再生特別事業補助金 2,000千円(10/10) (そ)南信濃温泉スタンド使用料 214千円
	国庫支出金						
	県支出金		2,000	2,000	2,000		
	起債						
	その他		198	214	198		
一般財源		35,782	34,602	44,138			
計(A)		37,980	36,816	46,336			
正規職員所要時間							
臨時職員等所要時間							
人件費計(B)				0			
トータルコスト A+B			36,816				

4 事業に対する市民や議会の意見

地域内の各団体等の連携強化を進める。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が誘客を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	観光客数(165,000人)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	道路状況や天候により不安定な状況もあったが、概ね実施出来た。		
	後期に向けた課題	施設の充実を図ると共に関係団体との連携が必要。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	関係団体と連携を図り、概ね実施出来た。		
	後期に向けた課題	関係団体と協議を重ね、地域にあった施策の検討が必要。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	計画的なメンテナンスにより、コスト削減に繋がった。		
	後期に向けた課題	関係者の意識改革と計画的なメンテナンスが必要。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	飯田市の所有する施設として、概ね良好に維持管理が実施出来た。		
	後期に向けた課題	今後も飯田市所有の施設であるため、適切な維持管理が必要。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行 政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮して きましたか	4年間の振り返り	観光客の安全と利便性を考慮し、概ね実施出来た。		
	後期に向けた課題	適切な対応により、観光客の安全と利便性を更に充実させる必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	関係団体と協議を重ね、施設等の充実を図ることが出来た。		
	後期に向けた課題	関係団体と連携を図り、地域の実情に合わせた施策の検討が必要。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------